

2019 年度 開智国際大学卒業式 学長式辞（抜粋）

2020 年 3 月 19 日、卒業式にて

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。

今、世の中では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界の各地で集会や催し物に慎重な対応が求められています。そのような中、卒業式を挙げる決断に至るまで、本学では、真摯に話し合いを続けてまいりました。多くの大学で卒業式を中止されるという状況でしたが、小規模大学の本学は、規模縮小・時間短縮など参加者の安全確保に配慮して実施することにいたしました。卒業式の実施は教職員一同の願いでもありました。来賓・保護者の皆様のご臨席はご遠慮願うという異例の措置となりましたが、とにもかくにも卒業式を執り行うことができました。このような中、理事の方々が、お祝いに駆け付けてくださいました。有難うございます。

卒業される皆さんを今日まで、物心両面で支えてこられた保護者の皆様の「この会場で共に卒業を祝いたい」との願いにお応えできないことは、大変心苦しく心残りです。保護者の皆様には、ここに改めまして、ご息女・ご子息のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

振り返ってみれば 2015 年 4 月、大学名を「開智国際大学」に変更し新たなスタートを切った本学は、留学生を積極的に受け入れ、様々なバックグラウンドを持つ学生・教職員が集うグローバルキャンパスへと舵を切りました。翌年の 2016 年 4 月に入学し本日でたく卒業される皆さんの国籍は、8 カ国にも及びます。そして、現在は、この小さなキャンパスに 19 カ国からの学生・教職員が集う大学となりました。皆さんは、本学が誇りとするグローバルキャンパスの記念すべき第一期生です。

言語も習慣も、価値観も異なる人々が集うキャンパスは、小さな地球そのものであり、授業の中で、また日々の交流の中で、驚きや戸惑い、時には拒絶感を抱き小さな衝突を経験されたこともあったかもしれません。しかし、多様性に気づき、認め合い受け容れる体験を通して、皆さんは、より強くより逞しく成長され、異なるものに心を開き耳を傾ける「包容力のある対人関係能力」を身につけられたと思います。

この 4 年間、勉学はもとより、学生会活動や柏学祭、そして部活のリーダーとして、大学生活を盛り上げ・充実させるために、皆さんは、多くの時間とエネルギーを捧げ

られました。また、種々の活動を通して、柏市をはじめとする地域の方々と大学との「懸け橋」として、十分な貢献もされました。私は、このような皆さんの生き生きとした活躍ぶりを、ワクワクしながら応援して参りました。

目を外に向けると、皆さんが入学されてからの4年間に、グローバル化は目まぐるしく進展し、国境を越えた国々の関係は、地球の隅々にまで、ヒト、モノ、カネ、情報を動かし経済の発展をもたらしてきました。しかし、今回の新型コロナウイルス騒動は、グローバル化を手放しで喜べない負の側面を私たちに突き付け、警鐘を鳴らしています。「地球はひとつ」という認識の下に、私たちは「地球市民」として協力し合い、相互のつながりが人々の生活を豊かにしてきたはずなのに、目に見えない敵であるウィルスを遮断するために、瞬時のうちに、ヒトとモノは動きを止め、各国が「孤立」を宣言しています。国家間に疑心暗鬼が生じ、口汚く他国をののしり自国を守ることに躍起になっている様子が、ニュースを通して伝わってきます。皆さんはこの現状をどのようにお考えでしょうか。

私は、今回の騒動を通して、つながりにのみ依存していることのもろさを実感し、改めて「座標軸」を持つことの重要性を再認識いたしました。国も、地域も、そして私たち個人も、確たる「座標軸」を、揺るぎない「座標軸」を持つことの重要性です。座標軸は、縦と横の二つの軸で構成されています。横軸だけでグラフを書くことはできません。縦軸があってはじめて点の位置を決めることができます。縦軸と横軸すなわち座標軸に自分の立ち位置を示すことによって、はじめて、自分の立場、自分の意見を主張できるのです。自己の確立ができてこそ、他への思いやりの気持ちが生まれるのではないのでしょうか。

グローバル化は、国と国、文化と文化、人と人とのつながりの「横軸」に関心が集まりがちですが、同時に、国の、地域の、個人のアイデンティティーを確立する「縦軸」が必要です。私たちを支えている基盤となる自国の歴史・文化・伝統、そして自分らしさを再認識した上に、自身の在り方、人生への姿勢・構想を明らかにすることです。その前提となるのは、これまでの学修から得た見識・教養です。「見識」と「教養」こそ、縦軸を作り上げる大切なファクターです。本学で、リベラルアーツ教育を受けて来られた皆さんは、4年間の学びの中でその基本を身につけて来られました。

皆さんには、4月から、社会人としての生活が始まります。グローバル社会を生き抜くには、「アイデンティティーを失わずに多様性を受け容れる」ことです。自分を信じ、揺るぎない自己の確立すなわち「縦軸」の構築こそ、社会人として、グローバ

ル社会を力強く生き抜く力になるものです。「縦軸」の基本は自身のヒストリーへの気づき、特長、強み、個性、恵まれていること・得意とすることへの問いかけから始まります。皆さんも、ご自身の座標軸、「横軸」を拡げること大切ですが、特に「縦軸」をしっかり築いてください。

本日、卒業の日を迎えられたのは、ご両親をはじめとする保護者の皆様のお支えがあったからこそです。改めて感謝の気持ちを伝えましょう。心で思っても通じません。「ありがとうございました」と言葉ではっきり伝えましょう。「ありがとう」は、これからの人生にとっても重要なキーワードです。

教職員一同、いつでも、皆さんをお待ちしております。本学の卒業生として誇りをもって活動してもらえよう、私たち教職員は一丸となって、さらに良い大学を目指して努力を続けてまいります。私たちも頑張ります。皆さんもお体に気をつけて、それぞれの場で活躍してください。また、ホームカミングデーで元気な姿を見せて下さい。

皆さんのご卒業と社会人としての門出を祝福し、式辞といたします。

本日はまことにおめでとうございます。

2020年3月19日
学長 北垣 日出子